

事務事業名	宝めぐりプレゼント事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6155							
			所属課室	観光商工課		課長名	塚原浩二							
	☐ 実施計画事業		所属担当	観光担当		担当者名	三井孝司							
基本政策	基本計画体系	Ⅱ	にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
		09	地域資源を活かした観光の振興		01	一般	0	7	1	0	0	3	0	2
政策	施策	16	観光基盤の整備	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業									
					☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 H18 年度）			法令根拠	なし									
	☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）													
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・平成21年度に山梨県観光物産連盟と山梨県大型観光キャンペーン推進協議会、国際交流団体とが統合し社団法人山梨観光推進機構となる。 観光推進機構が実施する広告宣伝やキャンペーン等の事業に参画。 県内外の方に特産品をプレゼントしPRを図る ・県の方針に従って継続していく。			事業費の主な内訳（22年度）										
				項目(細節)				金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)		
				消耗品費				13						
				通信運搬費				4						
												計 17		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	観光推進機構が実施する宣伝活動、観光キャンペーンに参加し、本市のフルーツ等特産品をPR
23年度活動予定	観光推進機構が実施する宣伝活動、観光キャンペーンに参加し、本市のフルーツ等特産品をPR
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
宝めぐりプレゼント申込者	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
南アルプス市の特産品をプレゼントし南アルプス市を知ってもらう	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
市内地場産業及び観光の振興	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
参加数	回
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
申し込み人数	人
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
事業全体の申し込み者	人
全体の申し込み者の内、南アルプス市プレゼントに申し込んだ人の割合	%
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円		17	70	70	70		
	事業費計 (A)			千円	0	70	70	70	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1			
		延べ業務時間	時間	2	4	4	4	4			
		人件費計 (B)	千円	9	18	16	16	16	0	0	
		(A)+(B)			千円	9	35	86	86	86	0
活動指標		アイウ	回	4.0	3.0						
対象指標		アイウ	人	0.0	5.0						
成果指標		アイウ	人 %	65.0 0.0	67.0 7.0						
上位成果指標		アイ									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成18年度から山梨県観光物産連盟が観光キャンペーンの一貫として開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	観光物産連盟、大型観光キャンペーン推進連盟、国際交流団体が統合し、山梨観光推進機構が誕生
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	特になし。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	山梨観光推進機構の企画によって運営されている
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	宝めぐりプレゼント事業	所属部	農林商工部	所属課	観光商工課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 本市の果樹観光推進施策の一貫である	
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 本市の果樹観光推進施策の一貫であり、県が主催する企画に自治体として参加している。	
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 観光振興を目的として、県内外の観光客を対象に行なっている事業であることから見直す余地はない。	
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 山梨観光推進機構の企画によって運営されている	
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 市が主催する事業ではない	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市の方針により廃止は可能
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 最小限の予算で事業に参加しているため、削減の余地はない。	
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 事務にかかると最低限必要な人件費のため、削減の余地がない。	
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 特定の団体及び個人を対象として実施している事業ではない。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	関係諸団体と連携して広域的に観光事業を展開していくことも観光振興には必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑩	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑩																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					